

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

新潟県		
学校名	管理機関名	設置者の別
南魚沼市立三用小学校（外15校）	南魚沼市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
全市立小学校	https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/docs/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
三用小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510005&frame=frm5f5852791841f	同左
赤石小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510006&frame=frm6170b18648440	同左
浦佐小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510007&frame=frm5f4f64932494e	同左
大崎小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510008&frame=frm5f484f2b3d2bf	同左
後山小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510009&frame=frm54c9a5caf1964	同左
藪神小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510010&frame=frm5f754eb0b1b3e	同左
城内小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510011&frame=frm5f7e6de90dcad	同左
おおまき小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510028&frame=frm5f4c8da07cab4	同左
五十沢小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510014&frame=frm5f6adf9282a93	同左
北辰小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510015&frame=frm5f9a311ca665f	同左
六日町小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510016&frame=frm591d78cb664d9	同左
上田小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510050&frame=frm628c7c367f4f7	同左
栃窪小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510019&frame=frm5f4f3a29b122f	同左
塩沢小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510020&frame=frm5f8676d504bda	同左
中之島小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510021&frame=frm5f600069b8ec7	同左
石打小学校	https://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510066&frame=frm5f84f563ce57e	同左

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

◎計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

地域在住で日本語による打合せが可能なALTを市で直接雇用することで、継続的な実施体制の充実を図ること、また市内にある高等教育機関在籍の留学生より協力いただき、学校訪問等を行うことにより、特別の教育課程を円滑かつ有効に実施することができている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

<特記事項>

特別の教育課程による授業の様子を、学校のホームページやお便りに掲載し児童家庭への配付、並びに回覧板等により地域住民への情報提供を実施している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

南魚沼市学校教育の目標である「心豊かでたくましい児童生徒の育成」達成のため、さまざまな出会いや触れ合いを通じて、諸外国や自国の文化、歴史を理解し尊重する心情や態度を育めるような活動を実践している。

近年、外国籍児童が増えている地域では、生活習慣や文化の違いにより生じる難しさを訴える声もあがっている。「国際科」の実施による国際理解やコミュニケーション力の向上は、引き続き今後の地域における共生社会の実現により成果が上がるものと期待している。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例「国際科」の2本柱、「国際理解教育」と「英語教育」のコミュニケーション能力の向上や、他者理解を重視したねらいにより、児童の多くが授業や学習に対して肯定的であり、中学入学時における生徒の英語に対する期待感やコミュニケーションを図ろうとする態度は育成されたものの、文部科学省が発表した「英語教育の在り方に関する有識者会議審議報告（H26.9.26）」の中で、小学校の外国語活動で音声中心に学んだことが、中学校での段階で音声から文字への学習に円滑に接続されていない、発音と綴りの関係の学習や文構造の学習に課題がある、との指摘があった。当市においても当時この傾向が見られたため、本特例の指導の中で、フォニックス指導を開始し、同時に新潟大学教育学部の協力のもと継続的に効果調査を実施している。

その結果、用いられているフォニックスの指導プログラムは、¹日本語を母語とする中学生への効果的な英語学習法であり、特に「英語の困り感」を持っている生徒を含む全員に英語の正しい発音が身に付き、また得点の上昇がみられる有益な指導法である。また小学校においては²フォニックス指導を行うことが、英語のみならず日本語への音韻認識・操作能力の向上に影響を

¹ 入山満恵子・加藤茂夫・渡辺さくら・山下桂世子（2019）「日本語を母語とする中学生への効果的な英語学習法の検討ー統合的フォニックスの活用ー」『LD研究』28, 262-272

² 加藤茂夫・入山満恵子・山下桂世子・渡辺さくら（2020）「ジョリーフォニックス指導効果検証の試みー新潟県南魚沼市の取組みからー」『JES Journal Vol 20』小学校英語教育学会 272-287

与え、場合によっては、一部の能力が転移されたと推測できた。一方で、フォニックス指導により英語の文字と綴りに関する理解に対し一定の底上げはできたものの、これらの手立てを講じても困り感が継続する児童生徒、日本語では困難を示さないが、フォニックス指導を受けた後も英語の読みの習得では困難を示す可能性があることが示唆された。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示した課題を踏まえ、英語習得初期段階でより丁寧な一律指導による基礎固めを行うことで児童生徒が抱える躓きや困難の軽減が図れるよう、小学校におけるフォニックスの指導が小中学校での外国語や国語の学力向上に繋がっていくのか、将来の英語学習に影響を与えていくのかについて、引き続き調査を行う必要があると考え実施している。